高知県作業療法士会学術誌（2021．5．25）

掲載論文　種別

1. 投稿論文

高知県作業療法士会会員が相互に研鑽し，発展に寄与する論文として，「総説」「原著論文」「実践報告」「短報」（以下，論文）の投稿を随時受け付けます．ただし他誌に発表された論文，または投稿中の論文はお断りします．

2. 高知県作業療法学会　演題原稿（以下，演題原稿という）

高知県作業療法学会（以下，県学会）で発表された演題（口述発表，ポスター発表を含む）又は，現職者共通研修の報告者での発表は，本学術誌の発行年から5年以内（例：2020年度の発行であれば，2015年以降に発表された演題）に限り論文として掲載する事が可能です．演題発表者は本学術誌掲載用の原稿を抄録用原稿とは別に，責任著者が希望する論文種目の投稿規定にしたがって，一般社団法人高知県作業療法士会学術部に提出していただきます．

投稿規定

1. 倫理的事項について

著者は，著作権や研究対象者の人権尊重に努めて下さい（文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を参照）．また，論文に関連する企業や営利団体等との利益相反（COI）のある場合は明記して下さい（厚生労働省の「研究に関する指針について」を参照）．また，助成金（資金援助）を受けた場合は，それが特定できる番号を登録してください．

2. 著者について

筆頭著者は本会の会員に限ります．共著者は本会会員でなくても構いませんが，作業療法士の場合は本会会員であること，当該年度（投稿時）の会費を納めていることを条件とします．作業療法士以外の場合は職種の記載をして下さい．なお著者の数は6名までとし，それを超える場合は下記一般社団法人高知県作業療法士会学術部まで御相談ください．

3. 責任著者について

投稿する論文について一番熟知しており，掲載後に論文の責任者として問い合わせを受ける著者とします．

1. 論文の種目と長さについて

1）総　　説：国内外の作業療法および関連する医療・保健・福祉の動向，政策，潮流など時宜に適った話題に関する総括的解説および提言．作業療法および作業療法関連科学の特定のテーマについて，過去の研究を概観し，将来的展望を視野においた組織的な論評および総括．論文は論文テンプレートに準じて記載し，長さは6~8枚とします．図・表は10点以内とし，図・表がある時は大きさにより，本文と文献の文字数を減らしてください．図・表の基準は執筆要領 9 を参照してください．

2）原著論文：実験，調査，臨床経験，理論研究などから得られた独創的で斬新な知見を含む結果の考察及び記述．論文の長さ，図・表は１）に準じます（図・表がある時は大きさにより，本文と文献の文字数を減らしてください）．

3）実践報告：特色ある作業療法実践（事例報告を含む）に焦点を当てた報告．治療手段としての活動，道具

情報,アイデアの紹介．論文は論文テンプレートに準じて記載し,長さは 4~6 枚とします．図・表は 6点以内とし,図・表がある時は大きさにより,本文と文献の文字数を減らしてください.

4) 短　　報：独創性のある所見，見解の速やかな発表を期待するパイロット的研究報告．後に詳しい「原著論文」として書くことが期待されます．論文の長さ，図・表は 3）に準じます（図・表がある時は大きさにより,本文と文献の文字数を減らしてください).

2. 執筆要領について

「執筆要領」に従って下さい.

3. 採否について

原稿の採否は,一般社団法人高知県作業療法士会学術部において査読を行なった上で決定します．場合により,加筆・修正をお願いすることがあります．また,編集委員会の責任において,多少の字句の訂正をすることがあります.

4. 再投稿について

修正後再査読の論文は4ヵ月以内に再投稿して下さい．それを過ぎた場合は新規投稿として扱われます.

※次号に掲載したい場合の期日は，一般社団法人高知県作業療法士会学術部に御相談ください.

5. 校正について

著書は原則として1回とします．校正は赤字で行い,指定の期限内に返送して下さい.

6. 掲載について

受理論文の掲載は，完成稿入稿の日付順とします.

7. 投稿の手続きについて

1) 執　筆　形　式：投稿を希望される方は論文種目にあったテンプレートファイルを高知県作業療法士会のホームページからダウンロードしていただき,後出の「執筆要領」に沿って記載して下さい.

2) 投　稿　の　方　法　：論文は,1）のテンプレートファイルに基づき,雑誌投稿状態を想定して作成してください．作成したテンプレートファイル（MS-Word）は,メール添付で以下のアドレス宛に送付して下さい.

3) 投稿時の提出書類：自筆署名・押印後の投稿承諾書筆頭著者の会員証コピーは,PDF ファイルで 2）と同様に送付して下さい．なお著者数超過がある時は一般社団法人高知県作業療法士会学術部 へお問い合わせ下さい.

【問い合わせ】

一般社団法人高知県作業療法士会　　学術部 E-mail：kochigakujutsushi@gmail.com

※掲載された論文の著作権（著作人格権，著作財産権）は著者に帰属します．著者は一般社団法人高知県作業療法士会へ，同協会が公益事業に役立てるために行う掲載論文の複写・複製・翻訳・翻案・要約および第三者への転載許諾の権利を譲渡するものとします.

執筆要項

1. 論文の構成は,標題,著者情報,抄録（要旨,日本語),キーワード（日本語),本文と文献,図・表とします．キーワードは学術誌作業療法「作業療法キーワード集」から3~5選んでください．キーワード集にない単語を用いる場合は（）をつけてください．

2. 投稿時には,論文種別（原著論文,実践報告など),標題（日本語),著者名（6名まで，日本語),会員番号（非会員は職種),職種英文略称,著者全員のメールアドレス,所属機関名（日本語),分野,キーワード（日本語),利益相反（COI),助成金（資金援助),著者ごとの役割（責任著者も明記)，謝辞などの情報を MS－Word に入力提出する必要があります．なお,倫理上の配慮については下記の 6 を参照してください．

3. 抄録(要旨)は,すべての論文に必要で日本語での記入です．要旨は300字以内とします．抄録（要旨）は,原則として,目的,方法,結果,結論が明らかになるように記述してください（特に「原著論文」の場合)．

4. 論文はテンプレートファイルに沿って作成し,文字サイズは9ポイント,書体は表題・副題・要旨・氏名・キーワードはMSP 明朝，本文は MS 明朝・アルファベットと数字は Century としてください（※テンプレートファイルの通りです)．本文は,原則として,目的,方法,結果,考察,結論が明らかになるように書いてください（特に「原著論文」の場合)．文献リストの書き方は下記の 8 を参照してください．

5. 文章表現は以下の点に留意してください．
   1) 現代かなづかい・算用数字とし，国際単位系（SI 単位）記号を用いてください（例:m,cm,mm,ml,kg,cm² など)．
   2) 外国人の人名は，原語で表記してください．
   3) 学術用語はできるだけ訳語を用い，必要なら（　）内に原語を入れてください．日本語化していればカタカナとします．
   4) 句読点は全角で「，」「．」とします．

6. 倫理上の配慮について

   論文として掲載される研究は,調査・研究の倫理的原則に従っている必要があります．著者は研究対象者の権利を尊重した表現を行う義務があります．一般社団法人高知県作業療法士会学術部は,必要に応じて,これらの事項に関する証明を著者にお願いすることがあります．なお人を対象とする医学系研究の場合,原則,所属機関等の研究倫理審査を経ている必要がありますので,倫理審査を経ている場合は承認番号（ない時は,承認年月日）を登録してください．インフォームドコンセントについては本文中に記載してください．

7. 引用・転載について

   論文作成にあたっては,著作権についての配慮を行ってください．論文中に他の著作物からの引用を行う時には,出典を文献リストに記載し,その文献番号を該当箇所に明記してください．また,引用の範囲を超えた「転載」には,著作権者やその著作物の出版社の許諾が必要です．論文が掲載されるために必要となる「転載」についての手続きは,著者が責任を持つこととします．

8. 文献リストは引用文献のみとし,引用順に配列してください．著者名は,5 名までを記載して,6 名以上は “ 他 ”（または et al）とし,表記の形式は下の記載例にならってください（雑誌名は正式な文献略称で表記,下線は翻訳本,は海外で発行の場合)．

【雑誌の場合】著者名：論文タイトル．雑誌名 巻数（号数）：開始 － 終了ページ，発行年．
【書籍の場合】執筆者名（訳者名）：章タイトル．全体の編者名，書名（巻数）版数，出版社，発行年，開始 － 終了ページ．
【インターネットから引用の場合】ページタイトル，URL（参照年　月　日）．

1) 能登真一，村井千賀，竹内さをり，岩瀬義昭，中村春基：地域在住の要介護高齢者に対する「生活行為向上マネジメント」を用いた作業療法の効果-多施設共同ランダム化比較試験-．作業療法　33(3)：259-269,2014.
2) 澤田雄二：作業療法ガイドライン．日本作業療法士協会・監修,作業療法概論(作業療法学全書 1)第3版,共同医書出版社,2010,ｐｐ．52-59.
3) Witt A,Cermak S,Coster W：Body part identification in 1-to 2-year-old children. Am J Occup Ther44 (2):147-153,1990.147.
4)Reid J：Computer and occupational therapy. In Creek J(ed),paitional therapy and mental health, Churchill Livingstone,NewYork,1990,pp.267-288.
5)Pendketon HM,Schultz-Krohn W(清水 一・訳):作業療法実践の枠組みと身体障害者への作業療法実践. Pendleton M,Schultz-Krohn W・編著（山口 昇,宮前珠子・監訳）,身体障害の作業療法 第 6 版,協同医書出版社, 2014, pp.3-21.
6)Chung JCC：Using problem-based learning (PBL) with Hong Kong occupational therapy students:Opportunities and chakkenges. Asian J ccup ther 2(1):10-22,2003. https://www.jst.go.jp/article/asiajot/2/1/2_1_10/_article(accessed 2003年2月21日).
7)日本作業療法士協会：学術誌「作業療法」論文投稿に関する倫理指針. http://www.jaot.or.jp/academic_journal/gakujutsushi_rinri/（参照2020年6月15日）．

9.図・表の文字サイズは8ポイント,書体はMSPゴシックとします．学術誌『作業療法』の1ページを図・表の最大サイズとし,図は最大で縦250ミリ×横165ミリ(本文と分文献の1,800字分)．表は最大で1行60字×50行(本文と文献の3,000字分)．次の点にも留意してください．

1) 図は白黒で印刷されるので,白黒でも区別のつく鮮明なものを準備し,トリミングを工夫してください．
2) 写真（図として扱う）は，カラー掲載しない場合には白黒とし，トリミングを工夫してください．
3) 図・表はすべて図・表の番号とタイトルをつけ，図は説明文も入れてください．
4) 本文中に図・表を挿入してください．
5) 引用・転載の図・表は，それぞれの出典を明記してください．
6) 必要がない限り，表に縦線は使用しないでください．

【仕上がった図と図番号・図の説明についての文字数換算】

片段サイズ(『作業療法』誌面の左半分か右半分(24字)に入る大きさ)

縦 60mm× 横 80mm以内の場合	240字分
縦 125mm×横 80mm以内の場合	500字分
縦 250mm×横 80mm以内の場合	1,000字分

段抜きサイズ（片段より大きい）

縦 80mm×横 80mm以上 165mm以内の場合	700字分
縦 100mm×横80mm以上 165mm以内の場合	900字分
縦 125mm×横80mm以上 165mm以内の場合	1,000字分

【仕上がった表と表番号・表の説明についての文字数換算】

片段サイズ(『作業療法』誌面の左半分か右半分に(24字)に入る大きさ)

横 80mm 未満の場合　　縦5ミリ(1行)ごとに24字×行数分の文字数

段抜きサイズ（片段より大きい）

横 80mm 以上 165mm 以内の場合　　縦5ミリ(1行)ごとに48字×行数分の文字数

全ページサイズ（縦に配置）

横 165mm×縦 250mm以内の場合　　2,000文字

全ページサイズ（横に配置）

横 250mm×縦 165mm以内の場合　　2,000文字

※投稿規定・執筆要領は一般社団法人日本作業療法士協会の学術誌「作業療法」の規定を参考・引用し作成しています．なお参考・引用にあたっては一般社団法人日本作業療法士協会に許可を得ています．